

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	桂川・支川対策特別委員会		会議場所 全員協議会室 担当職員 駒田
日 時	令和6年7月29日（月曜日）	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午前 10 時 53 分
出席委員	○梅本靖博、小林仁、片山輝夫、富谷加都子、大塚建彦、木村勲（欠席：西口）		
出席理事者	【まちづくり推進部】信部部長 【桂川・道路交通課】石田課長、門下広域事業・交通担当課長		
出席事務局	吉田事務局長、数井次長、小野議事調査係長、駒田主査		
傍聴者	市民 0 名	報道関係者 0 名	議員 0 名

会 議 の 概 要

10:00

1 開議（西口委員長あいさつ）

<梅本副委員長>

西口委員長から欠席届が提出されているのでご承知願う。

[事務局日程説明]

[まちづくり推進部入室]

2 案件

・河川改修の状況と今年度の計画について

[まちづくり推進部長あいさつ]

[桂川・道路交通課担当課長 資料に基づき説明]

10:13

[質疑]

<大塚委員>

南郷池の浚渫について工事の予定はあるか。

<桂川・道路交通課担当課長>

南郷池の浚渫は、昨年度京都府の府民協働型インフラ保全事業にご応募いただき、京都府において検討された経過があるため、京都府が堆積状況を定期的に確認し、必要な時期に実施されると聞いている。

<大塚委員>

春日橋の橋梁の架け替えの時期は。

<まちづくり推進部長>

当初は春日橋の北側に迂回路を通す計画であり、そのための用地交渉を京都府が行っておられたが、長期間になることもあり合意が得られなかった。そのため当初計画から変更し、南側に迂回路を通す計画について現在亀岡警察署と協議されている。

<大塚委員>

北側の用地交渉は断念されたのか。

<まちづくり推進部長>

そのとおりである。

<大塚委員>

現在計画している迂回路のルートは。

<まちづくり推進部長>

クニッテルフェルト通りから迂回路を90度に曲げて、旧上下水道部庁舎北側の駐車場付近で府道亀岡園部線と接続できないか計画されているが、仮設の信号機が必要になることや、迂回路が90度に曲がることで安全が確保できるのかなどを含めて警察との協議段階であると聞いている。

<片山委員>

雑水川に関する喫緊の課題として、南丹広域振興局より上流の、市道が雑水川を横断する橋の部分に2メートル近い落差工があるが、橋の部分の河積が狭く、過去には流木が挟まることで周辺の住宅に浸水被害が起こったとも聞いている。河床低下させることで改善できないかという地域からの声があるが、所見は。

<まちづくり推進部長>

下流から整備が基本となるため、河川改修としては中央橋から下流を重点的に整備いただいております。今年度は皐月橋と櫻橋の間を実施すると聞いている。上流に河積が狭い箇所があることも認識しており、倒木によって河川が閉塞しないよう、河川周辺の樹木の老朽化状況などを京都府に監視いただいている。

<片山委員>

先ほど質問した件について京都府南丹土木事務所へ要望に行った際には、地域の緊急性を鑑みて、亀岡市から要望があれば検討できないことはないという返答をいただいていた。ぜひ要望いただきたい。これは要望としておく。

<木村委員>

今後予定されている霞堤の嵩上げの時期は。

<桂川・道路交通課担当課長>

上流4か所の霞堤の嵩上げについては、アユモドキの関係もあり現在アドバイザー会議を開催されている。具体的な工事の時期は決まっていない状況である。

<まちづくり推進部長>

下流からの整備が必要であり、まずは曾我谷川の霞堤の嵩上げについて、公園整備と関連して「環境及び治水に配慮した霞堤のあり方に係るアドバイザー会議」で検討している状況である。曾我谷川の霞堤についての方向性が決まり次第、順次上流を整備していくことになるかと思う。

<木村委員>

犬飼川の少し上流が緊急浚渫箇所になっているが、犬飼川の合流箇所に土砂が溜まっている状況もあり、その辺りの整備について予定はないのか。

<まちづくり推進部長>

出水期により河床の状況が変わるため、出水期後の河床の状況を京都府が確認し、重点的に浚渫する箇所を決められると聞いている。3川合流地点付近に土砂が堆積している状況は京都府にも伝えており、引き続き要望していきたい。

<大塚委員>

下矢田町1丁目の極楽橋から京都縦貫自動車道の側道までの間と、医王谷までの間の河川の幅が狭くなっている。京都縦貫自動車道の側道から極楽橋までの間の浚渫ができていない状況があると思うので、ぜひ一度堆積物の状況を確認いただきたい。

<まちづくり推進部長>

京都府の計画では極楽橋から下流を河川整備計画で整備することになっている。極楽橋から上流について、普通河川の区間であれば亀岡市の管理になるため、現地の状況を確認したい。

<片山委員>

木村委員からも質問があったが、犬飼川の仮橋から下流と宇津根橋にかけて堆積土砂が多く、地域の方が心配されているためぜひ早く対応いただきたい。特に合流部分は支川の堤防が決壊する可能性もあるため、下流の浚渫をお願いしたい。これは要望としておく。国道9号における千々川に架る橋梁の設計が始まるという説明があったが、橋梁改修のために計画している工事計画は。

<桂川・道路交通課担当課長>

迂回路設置のための用地交渉も必要になってくるため、長期的なスパンになると認識している。今年2月頃に国土交通省が地元自治会に対する説明会を開催されたが、その際にも具体的なスケジュールについての話はなかった。

<まちづくり推進部長>

迂回路を南北どちらに通すことになった場合でも、国道9号沿線の複数の店舗も含めて移転いただくことになる大事業であり、迂回路のルートもまだ決まっていない状況である。当該事業は、国の国道拡幅事業と京都府の河川改修事業を合わせた事業になるため、負担割合や協定締結について国と府で協議されている段階であると聞いている。また3川合流地点の件であるが、犬飼川と願成寺川の合流地点に仮橋が架かっており、その仮橋が土砂堆積の原因にもなっている。国営ほ場整備事業において新橋を架けていただいております、その新橋が完成次第仮橋を撤去することになる。仮橋の撤去により改善する部分も大きいので、それも含めて要望していきたい。

<片山委員>

国営ほ場整備事業による新橋は令和8年度完成予定と聞いているため、少し先になるかと思うが、ぜひ対応いただきたい。

10:40

[まちづくり推進部退室]

3 その他

<梅本副委員長>

今後の取組について意見はあるか。

<片山委員>

保津橋から上流の霞堤嵩上げの計画がアドバイザー会議で議論されていると聞いたが、工事の時期は未定であるという答弁があった。昨年度は嵩上げが完了した箇所での現地調査を実施したので、今年度はぜひ霞堤の嵩上げを予定されている箇所の現地調査と、その際に京都府から今後の事業計画について説明を受けたい。

<梅本副委員長>

昨年度の現地視察の際に、西口委員長から福知山市に配備されている排水ポンプ車の現地視察についても提案があった。もし福知山市に行くのであれば、ポンプ車の配備状況と併せて京都市中・北部地域消防指令センターを現地視察することも一案であると考えている。

<木村委員>

排水ポンプ車は口丹波地区に1台もないと聞いているので、排水ポンプ車の視察を行う場合には、配備の要望も併せて行うことができればと思う。

<梅本副委員長>

本日西口委員長が欠席されているため、木村委員から提案のあった要望を行うかどうかも含めて、現地視察の方法や時期などは正副委員長に一任いただきたいがよいか。

(全員了)

<梅本副委員長>

今後の活動について、委員間での協議が必要になった場合は委員会を開催し方向性を決定することとする。

～10:53